

読書活動だより

# むすぶ

第54号

平成29年5月26日発行  
秋田県教育庁生涯学習課  
社会教育・読書推進班

爽やかな初夏がやってきました。学校や図書館でも新しい本を手にとって読書に励んでいる子どもたちの姿が見られます。さあ何を読もうかな？

## 平成29年度の読書活動は 「子ども読書の日（4月23日）から本格始動しています

秋田県の全ての市町村では、それぞれの「子ども読書活動推進計画」にしたがって、市町村の実情に応じた読書推進の取組が行われています。

一方、文部科学省は、広く国民の間に子どもの読書活動への理解と関心を深め、子ども自身が読書への意欲を高められるように、4月23日を「子ども読書の日」に制定して、読書活動の啓発を促しています。

「子ども読書の日」前後2週間の期間に、県内各市町村の図書館や学校等で行われた取組総数が、これまでの最高となる220件となりました。内容も、子どもの興味関心を惹き付けるものや年齢に応じたもの、地域性に富んだものなど、魅力的なイベントが揃っています。その一例を御紹介します。

- ・ぬいぐるみのおとまり会（鹿角市、大館市、藤里町）
- ・児童生徒による読み聞かせ（能代市、大湯村、湯上市、横手市、湯沢市）
- ・工作など創作活動を入れたおはなし会（鹿角市、小坂町、大館市、男鹿市、湯上市、五城目町、大仙市、仙北市、羽後町）
- ・外国語での絵本の読み聞かせ（由利本荘市、湯沢市）

全国の各市町村の取組予定は、「子ども読書の情報館」(<http://www.kodomodokusyo.go.jp/>)で見ることができますし、その他にもたくさんの楽しい情報に出会うことができます。

## 「子供の読書活動優秀実践図書館・個人文部科学大臣表彰」報告会



【受賞の喜びを語った村上館長と加々谷さん】



【教育長、両次長、生涯学習課長らとともに記念撮影】

文部科学省は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館及び団体（個人）に対し、その実践を称え表彰しています。

5月16日（火）、優秀実践図書館と個人表彰の報告会を県庁第二庁舎で行いました。「にかほ市立図書館こびあ」の村上司館長さんは、「地域の子どもたちに読書が好きになってほしいとの一心で取り組んできました。今後とも一層の推進を図りたい」と話されました。加々谷佐紀子さんは、「今回の受賞を励みに、今後も、家庭への出前読み聞かせ、秋田弁での読み聞かせなどに挑戦していきたい」と述べられました。

米田教育長からは、「地域の図書館の活動やボランティアの方の実践こそが子どもの読書推進を図る上でとても大きな力になる。今後とも、子どもたちの豊かな心を育む読書活動の推進のためにお力を貸していただきたい」と激励がありました。

# 平成29年度 子供の読書活動優秀実践文部科学大臣表彰 学校・図書館・個人の取組

前ページでもお伝えしましたが、今年度、文部科学大臣表彰を受賞されましたそれぞれの取組の中から、特徴的な実践を二つずつ紹介します。

## 潟上市立天王小学校

### 【ブックメニュー】

学校栄養士と学校サポーターによる食育コラボレーション企画である「ブックメニュー」を平成27年度から実施しています。給食における注目食材や行事食等に関する図書の紹介と講話を行う取組です。

### 【本の福袋】

各教職員が複数の推薦図書を選定し、内容物を意図的に隠した「本の福袋」として学校図書館で貸し出し、ジャンルを問わずバランスの取れた読書への啓発を図っています。

## 横手市立横手北中学校

### 【ミニビブリオバトルの開催】

年3回程度、昼休みに実施しており、バトルは各回3名を選出、お薦めの本を3分で紹介した後2分のディスカッション、オーディエンスによる投票という流れです。表彰は、長期休業前に全校表彰集会で行っています。平成28年度からの取組です。

### 【読書量の確認と表彰】

年間にわたって、全校生徒の読書状況をデータベース化し、コンピュータ管理しています。個人ごとに利用冊数を集計し、各学年上位者を校内放送で随時発表、年度末には表彰を行っています。

## 秋田県立湯沢翔北高等学校

### 【ビブリオバトルへの参加】

県生涯学習課主催の「ビブリオバトル」に2年連続で参加しています。授業で司書教諭からの説明及び指導を受け、生徒が図書館で選書し、クラス大会・学年大会、そして県の地区大会へと挑戦しています。

### 【相互貸借】

蔵書が学校規模に比して十分ではないため、これを補うべくレファレンスの一環として他校（大学含む）・市町村立・県立のみならず他県や国会図書館との相互貸借を続けています。実績は年間平均700冊にのぼっています。

## にかほ市立図書館こぴあ（にかほ市）

### 【ブックスタート事業】

幼児期から本に親しめるよう、平成22年度からブックスタート事業を実施し、4か月健診時に絵本2冊を親子に手渡すとともに、ボランティア団体の協力による読み聞かせを実施しています。また、0歳児から図書の貸出カード作成を可能とし、乳幼児期から親子で本を手にすることができるようになっています。

### 【ポイントカード制度】

貸出冊数1冊を1ポイントとして年間100ポイントで表彰し、読書意欲の喚起を図っています。

## 加々谷 佐紀子 氏（秋田市）

### 【読み聞かせボランティアの主催】

読み聞かせボランティア「グループ森の実」を主宰し、秋田県児童会館や近隣町村で定期的なおはなし会を開催しています。

### 【読み聞かせボランティアのコーディネート等】

平成15年から秋田県子ども読書支援センターの専任相談員として3年間、それ以降は、同センター支援員（ボランティア）として現在に至るまで、おはなし会実施、読書相談、お薦め本リスト作成、読み聞かせボランティアのコーディネートを行っています。